

やまとサロン（2024年3月例会）の活動報告

開催日：2024年3月8日（金）

場 所：生涯学習センター（シリウス）6階会議室

内 容：講演会 演題「父とオリンピック」

講師：田中 政弘氏（大和稲門会幹事）

1936年ベルリンオリンピックでの日本人選手の活躍映像を観賞

参加者：石川、宮崎、水野、菟場、渡辺、児浦、小澤、関根、加藤、田中、大竹、堀合、佐竹、上原、太代議員（田中氏の友人） 以上15名

今回の2024年3月例会（大和サロン9回目）として、田中政弘会員による講演、「父とオリンピック」を開催しました。講演の内容は：

田中氏の父君は、早稲田大学在学中の1936年のベルリンオリンピックの「走り高跳び」に出場、当時の記録からメダル候補と期待されていたが6位入賞に終わった。その4年後の1940年の東京オリンピックでは金メダル有力候補と期待されたが、ご承知の通り、太平洋戦争の影響から大会は中止となり、オリンピック金メダルの夢はついでに失ってしまった。

父君はその後、召集を受け中国に出征、戦後、郷里の宇部に戻るが陸上競技から離れ、陸上競技の指導者になることも、息子の政弘さんに陸上競技を勧めることしなかった、とのこと。家庭では、「オリンピックに出場した」との話もすることは殆どなく、敢えてオリンピックの話題を封印していたようだ、という。

父の没後、後日父の陸上競技に関する記録や記念の資料、スクラップ類が見つかったので、早稲田大学に寄贈し、現在は東伏見にある「陸上記念館」に展示されている、とのこと。

このような父の思い出等を語られた後、1936年の「ベルリンオリンピック記録映画」のDVD版を観賞した。ベルリンオリンピックはナチスドイツの時代でヒトラーが国威発揚のためオリンピックの記録映画として制作したもの。それを戦後NHKがTV放映したのを知り、田中氏がそのコピーをNHKに頼んで入手した、とのこと。

2時間半ほどの長編のDVDを、田中氏は、陸上競技の日本人選手の競技する模様を中心に映写し、田中氏の解説を聞きながらの観賞となった。父君のオリンピックでの走り高跳びの跳躍シーン、田島正人選手の三段跳びで大跳躍で優勝するシーン、男子マラソン競技で孫基禎選手（当時は朝鮮籍の日本人）の優勝につながる競技シーンなどを観賞することができた。

田中氏の父君に関する講演を聞き、オリンピックと戦争について考えたり、90年前の日本人選手の活躍を映した貴重な映像を見ることができ、参加者一同感激しました。

以上